

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」事業計画

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値
小国町	学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化や地域とのつながりが希薄化している中で、学校のみならず、家庭や地域住民等が相互に連携・協働して、地域全体で子ども達を育てていくことが課題である。</li> <li>・現在協力していただいている地域住民によるボランティアの人材が固定化されている傾向にある。</li> </ul>	町民総がかりの教育展開のもと、「それぞれの立場による地域学校協働活動の推進について」をテーマとした研修会を白い森子ども応援隊向けに開催し、より一層の理解と参画を促している。	学校パートナー、放課後子ども教室ボランティア、白い森学習支援センター関係ボランティアなどに加え、小国町PTA連絡協議会とも連携を深め、白い森子ども応援隊への保護者の理解と参画を一層推進するための研修会を学校運営協議会と合同で実施する。	地域がまるごと子ども育成サポーターとなる白い森子ども応援隊への理解と参画が進み、新規ボランティア人材が増えることで、多様な分野で得意とする講座等の先生が誕生し、地域に溶け込んだ活動の中で児童生徒との協働活動により、多様な支援活動として輪が広がっていく。	・新たな学校支援ボランティアの人数を増やす取組みの中で、子ども達と協働で行う「地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思う児童生徒の割合」(全国学力学習状況調査における児童生徒質問紙より)	72.2	%	75.0